

## 私のコロナに関するモノと記憶

・タイトル 「

・原稿（下の枠内に自由に記載してください。）

この用紙そのものを展示する場合がありますので、差し支えなければ、文末にお住まいの市町村と年代・職業をご記入ください。（例：甲府市在住・40代・公務員）

※メールなどで提出される方は、この要項に記載の必要事項をご自身でご記入のうえ、ご応募ください。



新型コロナウイルス感染症関係資料の  
収集についてのページへのQRコード

【応募・お問い合わせ先】

山梨県立博物館 学芸課（担当：小畑）

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1501-1

電話 055-261-2631 メールアドレス [kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp)



ナス

山梨県立博物館では、



ヨゲンノトリ

# 新型コロナウイルス感染症にまつわる

# モノ（資料）と記憶（証言）を集めています！

## ■私たちの体験を 100 年後の未来に伝えましょう

博物館は大昔のモノを集めているだけではありません。現代の私たちの社会の出来事や文化に関するモノや記憶を、未来の山梨の人々に継承することも、博物館の大事な仕事のひとつです。新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、現代の生活や文化に大きな影響を与えた私たちの「歴史的体験」ともいえるものであり、私たちがどのようにパンデミックに向き合ったかを後世に継承していくことは、地域社会にとっても大事なことといえます。

山梨県立博物館では、県民のみなさんがお持ちの新型コロナウイルス感染症に関するモノ（資料）や、この大変な時期に体験したことや感じたことの記憶（証言・写真）を集めています。100 年後の山梨の人々に向けて、多様な資料や記憶を残せるように、多くのみなさまのご協力をお願いいたします。

ヨゲンノトリとナスのイラストは「暴瀉病流行日記」（当館蔵）より

## ■当館の新型コロナ対策状況と収集資料

(右上) 館内のソーシャルディスタンスを勧める表示  
(上中央) アルコール消毒液  
(左上) サブエントランスでの検温チェック  
(左下) 当館での大規模接種の表示  
(右下) 新型コロナ関係収集資料



## ■コロナにまつわるモノ（新型コロナウイルス感染症関係資料）の募集

- ・例えばこんなモノ（資料）とその説明文（入手や使用の経緯など）をご応募ください。

☆広報印刷物（ポスター・パンフレットなど） ☆教育・啓発資料 ☆関連する器具（マスクなど）  
☆休業や中止に関する掲示物や紙資料類 ☆学校教育関係の通知類 ☆コロナ対策に関する商品  
☆ワクチンに関するもの ☆「自粛警察」に関するもの ☆その他新型コロナと社会にまつわるもの

- ・お寄せいただいたモノ（資料）にまつわる送料をはじめ費用等の負担はいたしません。また、モノ（資料）の所有権は県立博物館に帰属するものとさせていただきますので、ご承諾のうえでご応募ください。重複するモノなどは処分する場合がありますのでご承知おきください。

## ■コロナにまつわる記憶（証言・写真）の募集

- ・感染した当事者の方、医療従事者、飲食業の方などどなたでもご応募ください。
- ・内容は新型コロナウイルス感染症に関することであればなんでも可とします。
- ・ご応募いただく記憶（証言・記憶）はつぎの様式をお願いします。

☆証言（文章）はタイトルを付けて100～800文字を目安とした原稿を作成してください。  
☆文章は手書きでもパソコンで作成（wordないしテキスト形式）でも結構です。  
☆文章のみのご応募でも結構です。  
☆写真のご応募はなるべくデータ（jpeg形式 3MB程度）でご提出ください。  
☆写真は個人等の権利の保護や公序良俗に反しないものとし、撮影場所や時期、説明文を添えてください。

- ・個人情報やコロナ関係資料の収集や調査研究以外の目的では使用いたしません。コロナにまつわる記憶を調査研究や展示などに使用する際は、応募者のお名前は匿名での表記を原則といたします。
- ・お寄せいただいた記憶にまつわる費用等の負担はいたしません。また、原稿および写真の著作権は県立博物館に帰属するものとさせていただきますので、ご承諾のうえでご応募ください。

## ■応募方法（応募先は本用紙の最後に記載しております。）

- ・資料や原稿などは県立博物館に郵送・メール・持参などによりご応募ください。

☆メールで応募される方は、下記の情報を可能な限りでよいので明記してください。  
名前（例：山梨太郎） 生年月日（例：1950年1月1日） お住まいの地域（例：笛吹市）  
性別（例：女性） 職業（例：自営業） 連絡先（住所・電話番号・メールアドレスなど）

- ・資料が多数となる場合（段ボール箱1箱以上）は、事前に県立博物館にご相談ください。なお、発火性のあるものや危険物は郵送しないように、法令・規則の順守をお願いします。
- ・募集期間は設けませんが、資料が捨てられたり、記憶が薄れる前にご応募ください。

私たちの大変だった思いや記憶を、後世の人々に残していきましょう。

## コロナにまつわるモノと記憶を集めています！ 応募用紙

・記入日 年 月 日

・応募される方

お名前（例：山梨太郎）	
生年月日（例：1950年1月1日）	年 月 日 生まれ
お住まいの地域（例：笛吹市）	市・町・村
性別（例：女性）	
職業（例：自営業）	
連絡先（電話かメールは必須）	
(ご住所) 〒	
(電話番号)	
(メールアドレス)	

- ・応募内容は何ですか？○を付けてください。

モノ（資料） 記憶（証言） 記憶（写真）

- ・募集の要項（切りはなし前の左ページ）に記載されている応募資料や証言、写真の取り扱いや著作権等の帰属について、ご承諾いただけますでしょうか。○を付けてください。

はい いいえ

- ・モノ（資料）や記憶（写真）のご応募の方は説明文を、記憶（証言）のご応募の方はタイトルと原稿を次のページにご記入ください。